

令和3年度 東京都立世田谷総合高等学校 学校経営計画

東京都立世田谷総合高等学校長

佐藤 信孝

1 目指す学校像

本校の目指す教育は、高い志を持ち、心身ともにたくましく、かつ柔軟な感性を磨き、これからの時代を充実した人生と共に生き抜く人間の育成を目指しています。

自らの進路について展望し、可能性を高めるためのキャリア学習を通して、自らの将来を模索し豊かな自己実現を目指す意欲を育てていきます。総合学科の特色である、選択科目群としての「系列」の特性を生かし、主体的に学び、考え、判断し、行動できる力の育成を目指し指導を行っていきます。

本校の全職員が、総合学科を深く理解し一つのチームとなって学習指導・キャリア教育を一層充実させ、総合学科高校として、都民の高い期待に応える学校を目指します。

2 中期的目標と方策

- ① 組織的、系統的なキャリア教育と学習指導を一体化させることで、一人一人の生徒がより具体的な将来へのビジョンを持ち、自ら最も望む進路実現を目指す生徒を育成します。
- ② 3年間で学ぶ「キャリアデザイン」「人間と社会」「課題研究」を充実させるため、大学をはじめ、外部人材の活用等との連携を一層推進していきます。
- ③ ものづくり、芸術、情報等の各分野における専門性を生かした幅広い分野の学習を通じて、生徒の主体的な学習を推進していきます。
- ④ グローバル社会への対応、学校の特色化として、国際理解教育を推進し、新たに海外研修の実施に向けた取組みを行います。
- ⑤ 生徒が主体的に関わる学校行事・部活動を奨励し、学業と両立させながら最大の成果を上げることができるよう支援していきます。
- ⑥ 社会に生きる者としての規則・規律・マナー・倫理観・使命感を、道徳教育や生活指導を中心に、すべての学校生活を通じて指導していきます。また、主権者教育を推進し、社会貢献と公共心の意識を涵養します。
- ⑦ 生徒が互いを尊敬・尊重し合い、互いに高め合う心の育成を図ります。いじめや体罰の無い学校の維持に努め、アンケート及び聞き取り調査を継続して行い、未然防止・早期発見・早期対応に努めます。安全・安心な学校づくりを教職員・保護者・地域との連携を基盤として推進します。個別の生徒状況に対応できる教育相談体制を構築し、自殺予防等生命尊重や個別の支援教育を計画的に行います。
- ⑧ ホームページやツイッターを活用して、学校における特徴的教育イベントや活動状況を適宜発信していきます。地域の中学校生徒・保護者に向けた学校PRを積極的に行います。さらに、充実した校内設備や施設、多様な選択科目を基盤とした特徴的な授業などを、都民公開講座などを通じて広く都民に公開します。これらの活動を通じて、世田谷総合高校としてのより明確な特性と強みを積極的にPRしていきます。

3 今年度の取組目標と方策

(1) 教育活動の目標と方策

① 学習指導

「高い志を持ち、心身ともにたくましく、かつ柔軟な感性を磨き、これからの時代を充実した人生と共に生き抜く人間」を育成するためには、常に生徒の興味関心を喚起し、学習の狙いと到達目標を絶えず示しながら、主体的、対話的で深い学びを各教科・科目の学習の中で、一層推進します。

大学や有為の外部人材との連携を深め、海外を含めた研修、講演会の機会を数多く設定し、高く広い視野を持って世界を見渡し、物事を考える力を養成していきます。

② 進路指導

総合学科高校としての特性を生かしながら、生徒の高い志の育成に尽力します。3年間の進路指導計画は、すべての職員が共有するものとし、各学年担任団・教科担当・進路部が深く連携し情報共有を図りながら、一人一人の生徒にとって最も望ましい進路実現を目指します。

③ 募集・広報活動

ホームページの更新をタイムリーに行い、生徒の学校生活での成果や本校の魅力を積極的に中学生や保護者、さらには広く都民に発信し、募集対策・広報活動を活性化させていきます。また年度内に予定されているホームページの全面リニューアルを機に、より多くの教職員が積極的にホームページ更新に関われる体制を構築します。各種学校説明会、出前授業を充実させ、入学選抜における応募倍率を高めるために尽力します。

④生活指導

社会生活を送る者として基本的な生活習慣を確立し、社会人として自立した人間になれることを目指し生徒の育成に取り組めます。規則・規律・マナー・倫理観についての指導を、すべての教職員が共通理解を持って取り組みます。いじめや体罰を絶対に許さない風土を校内に醸成し、教職員と保護者さらには地域との連携の下、安全・安心な学校づくりを推進していきます。

⑤特別活動・部活動

様々な制約がある中においても、創意工夫のある計画を立案し、充実した活動ができるよう指導していきます。他者との共同や帰属意識、互いに高めあう集団作りに重点を置き指導していきます。防災教育を充実させ、近隣小中学校との連携訓練等にも取り組んでいきます。

⑥心身の健康づくり

すべての職員が協調し、協力して指導体制をより強固なものとし、生徒の体力向上と心身の健康づくりを増進させます。保健相談やカウンセリング体制を教職員・保護者に対して十分に可視化し、柔軟で、漏れのない相談体制を整えます。発達障害等に関する情報・知識を全職員が共有し、様々な案件に適切な対応ができる特別支援教育体制を整備します。自殺予防に関する取組みを組織的に推進します。

⑦学校経営・組織体制

すべての教職員のコンセンサスを図りながら学校運営を行うために、企画調整会議・各学年分掌会・教科会・教科主任会を活性化させ、意見交換できる環境を整えていきます。教職員一人一人が、本校の「強み」をよく理解し、それぞれの立場で積極的に学校経営に参画できる組織を目指します。

STEP（PTA組織）とよく連携し、校内の教育環境を整えるとともに、募集対策につながる校外活動

についても連携していきます。

経営企画室においては学校経営目標を十分に反映した予算編成と適正な事務を執行し、企画・経営参画を積極的に行う運営を目指します。

⑧風通しのいい明るい職場環境の構築

すべての教職員の心身にわたる健康状態を気遣い、互いにどんなことでも相談し、話し合える明るく風通しの良い職場風土の形成に十分に注力します。産業医ともよく連携し、教職員の心身の健康増進に向けて積極的な相談活動を行います。また、ライフ・ワーク・バランスの視点から業務内容を精選し、超過勤務を縮小するための工夫に取り組みます。

⑨デジタル技術を活用した教育の推進に関する積極的な取り組みと研修

効率的・効果的なオンライン授業をすべての教員が行うことができるよう、校内研修と実践の機会を多く設け、早期に実施できる体制を整えていきます。そのために校内における機材の整備、環境整備を組織的に行っていきます。

⑩地域に開かれた学校づくりの推進。

施設開放や公開講座により、地域に開かれた学校としての役割を十分に果たしていきます。継続的な地域との連携に様々な分野で取り組みます。

(2) 重点目標（本年度における数値目標）

学習指導

- 生徒のキャリア教育満足度 90% (R02:88.7%、H31:82.7%)
- 授業満足度 90% (R02:85%、H31:83%)

進路指導

- 進路決定率 95% (R02:96%、H31:98%)
- 大学進学のうち、共通テスト受験率 20%以上
- 各種検定（英検・漢検・ワープロ）2級レベル取得者数合計 45以上 (R02:39名、H31:29名)

生活指導

- 生活指導方針の生徒理解度 80% (R02:73.0%、H31:66.2%)
- 部活動加入率 80% (R02:68%、H31:71%)
- いじめ・体罰 0件 (R02:0件、H31:0件)

募集対策・広報

- 入学選抜応募倍率 推薦選抜 2.0倍 (R02:1.95倍、H31:1.85倍)
第一次学力選抜 1.3倍 (R02:1.01倍、H31:1.24倍)
- 外部会場での学校説明会 10件
- Twitterでの情報発信 100件
- YouTubeでの情報発信 10件 (R02:3件)
- ホームページ更新回数 300件 (R02:354件、H31:264件)

安全対策

- 重大事件事案発生件数0件（R02:0件、H31:0件）
- 都民公開講座の実施 3種類3講座（R02:0件、H31:1件）

（3）重点目標達成に向けての具体的方策

学習指導

すべての教員が、総合学科におけるキャリア教育の在り方を十分に理解し、その手法について絶えず研鑽を積みながら、学習活動領域におけるあらゆる場面をとらえて実践指導を行います。そのために、キャリア教育に関する教員の研修を十分に行っていきます。

各教科の指導目標、指導計画を教科内で共有し、生徒一人一人の学力向上を図る体制を作ります。教員相互の授業参観、生徒による授業評価、他校の優れた授業見学等を通じて日々の授業をより良いものにしていきます。特にグローバル化に対応できる生徒の育成を図るため、英語教育のさらなる改善・充実に努め、多民族社会をターゲットとした海外研修に関する検討を早期に進めていきます。

進路指導

進路説明会、進路検討会を通じて全教職員が共通理解・認識を持って進路指導に取り組める体制を整えます。特に進路部と各年次が良く協調し、効果的かつ計画的な進路指導ができる体制を整えます。

保護者会、三者面談を必要に応じて十分にいき、家庭との連携を図りながら生徒の進路希望をかなえていく努力をします。

生活指導

生活指導についての学校方針を生徒によく理解させ、すべての教職員が同じ目線で生活指導を行うことを推進します。通学時の交通マナー、自転車走行のルールの徹底など、必要に応じて集会やホームルームで継続的な指導を行っていきます。決められた時間で最大の効果を上げられる部活動を目指します。そのため生徒に考えさせる場としての部長会を充実させます。いじめや体罰のない環境を維持することを生徒に対して各学級・年次の生徒集会で十分な周知を図ります。教職員のみならず、外部からの部活指導員等にも指導の在り方について注意喚起を徹底します。

募集対策・広報

学校の様々な魅力をより具体的に発信していきます。他の高等学校には見られない充実した施設・設備を活用した授業の公開見学、多様な選択科目の参加型公開などを積極的に行っていきます。これらのことを募集活動に適切に反映させます。また重点地域を定め、ポイントを絞った広報活動を展開します。ホームページ等のメディアを最大限に活用し、発信力の高い学校としてのイメージを定着させます。

安全対策

安全・安心な学校であることに最大限の注意を払い学校を運営していきます。スクールカウンセラーとの連携を強化するとともに、校内研修をよく活用しながら、学校全体の教育相談力を向上させていきます。生命尊重教育をあらゆる機会をとらえていき、自殺予防に組織的に取り組みます。